

目標 2. 大規模自然災害発生直後から救助・救急、医療活動等が迅速に行われる  
(それがなされない場合の必要な対応を含む)

2-1) 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止
<p>(物資、資機材等の備蓄、調達体制の整備)</p> <p>○大規模災害発生時には応急復旧に必要な資機材等が不足することが懸念されるので、資機材を備蓄し定期的に点検、整備を行うとともに近隣市町村との相互応援体制を図る必要がある。</p> <p>○避難が長期化する大規模災害発生の際には多くの方が避難することになるため、食料等生活必需品等の備蓄数量を計画的に確保することが必要である。また災害時には避難所のトイレが使用できなくなることが想定されるので応急トイレの整備が必要である。</p> <p>○避難が長期化し市の備蓄数ではまかないきれないことを考慮し、民間の流通企業との物資提供について協定に基づく安定的な物資提供に努める必要がある。</p> <p>(道路等の防災・減災対策及び耐震化)</p> <p>○災害時における交通の安全、緊急輸送の確保のための交通応急対策については、道路管理者(市道においては市長)、公安委員会、警察その他関係機関の協力のもとに、防災計画の定めるところにより実施する必要がある。</p> <p>(緊急輸送体制の整備)</p> <p>○市内の防災活動拠点(市庁舎、警察署、消防署)、輸送拠点(道路、鉄道駅、臨時ヘリポート物資集積場等)、防災備蓄拠点を有機的に結ぶ道路網を主体とした安全性、信頼性の高い緊急輸送ネットワークの整備を推進する必要がある。</p>
<p>【重要業績指標】</p> <p>① 行政機能／警察・消防</p> <p>備蓄食料数 非常食 4,000 食(R1)【防災課】(再掲)</p> <p>飲料水 6,000 本(R1)【防災課】(再掲)</p> <p>⑤ 情報通信・交通・物流</p> <p>市道改良率：34.8% (H30)【建設課】(再掲)</p> <p>橋梁点検箇所：370 橋 (H26～H30)【建設課】(再掲)</p> <p>橋梁修繕工事：12 橋 (H27～R1)【建設課】(再掲)</p> <p>国道 50 号線 4 車線化：37.8% (R1)【建設課】(再掲)</p>